

とちぎ
2009

県政のあゆみ

2010年3月号別冊

2010年3月1日発行
編集・発行：栃木県広報協会
県のホームページ
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/>



めざそう、元気な中山間
とちぎ中山間地域の集い



県と県中山間地域活性化推進協議会は1月18日、塩谷中学校体育館アリーナで県内中山間地域で農地保全に取り組む関係者など、約350人を集め「とちぎ中山間地域の集い」を開催しました。中山間地域の可能性などを探る基調講演をはじめ、里山に居住する地元音楽家によるミニコンサート、宮小来川（日光市）などの集落協定代表者3人による事例発表など、盛りだくさんの内容で行われ、元気な中山間地域づくりに向け、会場は熱気に溢れていました。

地域医療を守り育てよう
フォーラムに400人が参加

医師不足やコンビニ受診、中核病院における経営環境の悪化など、さまざまな課題を抱えている地域医療について、県民一人ひとりが自ら考えるために、1月25日「地域医療を考える県民フォーラム」を開催しました。当日は、県民や医療関係者、行政関係者など、約400人が参加し、活発な話し合いが行われました。県民のみならず、まが生涯にわたって安心して暮らすことができる地域医療を確保していくためには、県民のみならず、市や町、医療従事者など関係者がこれらの課題を自らの問題として考え、共に地域医療を守り、育てていくことが重要であると考えています。

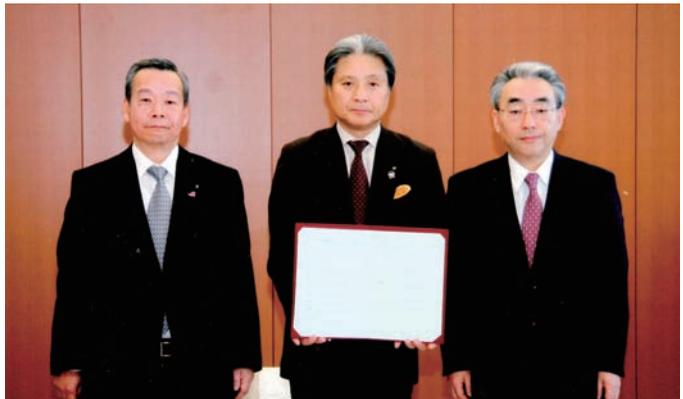


社会貢献活動を展望
ぼ・ぼ・らが設立5周年



本県の社会貢献活動を促進するため設置された「とちぎボランティアNPOセンター（愛称「ぼ・ぼ・ら」）」が5周年を迎え、1月24日、記念行事が開催されました。ワークショップやフォーラムなどを通して、これからの社会貢献活動のあり方や「ぼ・ぼ・ら」の果たすべき役割などについて、多くの意見が交わされました。また、福田知事も出席して記念植樹が行われ、参加者の手により、施設に彩りが添えられました。

がん検診受診率の向上へ
官民協働でプロジェクト



がんの早期発見・早期治療のため、県と(株)足利銀行、東京海上日動火災保険(株)の三者が協働で、がん検診の受診率向上を目指したプロジェクトを実施することになり、2月2日に協定を結びました。このプロジェクトは、市町で行うがん検診を受診した住民が検診についてのアンケートに答えると、足利銀行の窓口で記念品が進呈されるものです。県では、こうした事業を通じて、2012年度までにがん検診受診率を50%以上に引き上げることを目指しています。

中心市街地の渋滞を緩和
上野町バイパス全線供用

3月16日、県道宇都宮鹿沼線「上野町バイパス」延長8.13kmの全線供用を図りました。本県道は、鹿沼市街地においてクラック形状となっており、JR鹿沼駅前交差点を中心に慢性的な交通渋滞が発生していたことから、多くの市民のみならず円滑な交通の確保が望まれていました。今回のバイパス開通により、鹿沼市中心市街地の慢性的な交通渋滞や周辺道路の混雑が緩和されるとともに、鹿沼市と宇都宮市との連携強化が期待されます。



子どもや女性を犯罪から守れ
子ども・女性安全対策班を設置



子どもや女性が被害者となる凶悪事件が全国的に跡を絶たない中、県警察本部は3月30日、生活安全企画課内に警察官21人体制の「子ども・女性安全対策班」を新設しました。同対策班では、子どもや女性を対象とする声かけや、つきまといなどが発生した段階で、誘拐や性犯罪などの凶悪事件に発展する前に行為者を特定し、検挙または指導・警告を行い、子どもたちや女性が安心して暮らせる社会を目指し、日夜活動しています。(写真は、今市事件現場で黙とうを捧げる対策班員)



**「強み」を活かした産業振興
医療機器、光産業振興協議会を設立**

本県の「強み」を活かして特定産業分野の重点的な振興を図る「とちぎ産業振興プログラム」を08年12月に改定し、新たに医療機器、光、環境の各産業分野を重点振興分野に追加しました。これを受けて、各分野の産学官ネットワークを形成するため、3月23日に「とちぎ医療機器産業振興協議会」、6月17日に「とちぎ光産業振興協議会」を設立し、産学官の連携を図りながら、人材育成・確保、研究開発、販路開拓などの支援事業に取り組んでいます。



**求職者の生活や再就職を一体的に支援
とちぎ求職者総合支援センターが開所**



離職を余儀なくされた人など、求職者の生活の安定と再就職の促進を図るため、県が行う生活就労相談と公共職業安定所が行う職業相談・職業紹介を一体的に実施する「とちぎ求職者総合支援センター」を、4月23日J R宇都宮駅

前通りに開設しました。センターでは、各種セミナーや、巡回相談会、外国人向けの相談も実施しています。さらに、9月24日には、センターが入居しているビルに「ジョブカフェとちぎ」を移転し、支援機能の充実を図りました。



ナタネで資源の循環を

県庁菜の花循環モデル事業



県政の重点テーマである「地球と人にやさしい「エコとちぎ」づくり」の一環として、バイオディーゼル燃料に関する市町村の取組促進やバイオマスの有効活用に関する県民意識の向上を図るため、「県庁菜の花循環モデル事業」を実施しました。同事業では、08年11月に種を播き栽培・収穫したナタネから菜種油を採油。食用として利用し、その廃油からのバイオディーゼル燃料製造を経て、09年11月県農業大学校祭でディーゼル発電機を用いた燃料実証利用などを行いました。

豪雨災害に備える！

連合水防演習を実施

5月16日、「2009 佐野第58 回利根川水系連合水防演習」が、佐野市船津川地先の渡良瀬川で開催されました。当日は、皇太子殿下にご臨席いただくとともに、演習参加者と見学者あわせて約1万8000人という大規模な演習となりました。今回は、見学者と水防工法を行う場所を近づけ、臨場感ある演習にするとともに、工法のポイントを専門家に解説してもらうことで、見学者にも見やすくわかりやすい演習となるよう心がけました。



地域・世代を越えて交流

ねんりんピックとちぎ



高齢者の祭典「ねんりんピックとちぎ2009」が、とちぎ健康の森や宇都宮市内の競技施設などで開催されました。5月22、23日に「健康・生きがいフェスティバル」、24日を中心に「スポーツ・文化交流大会」が開催され、宮川泰夫さんの記念講演や絵画、書道などのシルバー作品展、卓球など19種目の競技大会などさまざまなイベントが行われました。県内各地から参加された高齢者のみなさまが、日頃の鍛錬や努力の成果を披露され、地域・世代を超えた交流の場として盛り上がりました。

魅力・実力を県内外へ発信
「とちぎ未来大使」を委嘱



豊かな自然、多様な農産物や工業製品、優れた歴史・文化など本県の持つ魅力や実力を県内外へ発信するため、「とちぎ未来大使」を設置しました。とちぎ未来大使は、文化、芸能、スポーツ、経済などの分野で活躍されている方で、本県に深い愛着を持ち、とちぎの魅力・実力の情報発信を積極的に行ってくれる方をお願いしています。大使の委嘱を受けて県庁を訪れたU字工事のお2人からは、「2001万人パワーで頑張っぺー！」と県民へのメッセージをいただきました。

県庁舎など会場に6万人
県民の日記念イベント

6月6日と7日の両日、「県民の日(6月15日)」を記念したイベントを、昨年1月に供用開始した県庁舎などを会場として行いました。県民の日は、宇都宮県と栃木県という2つの県が合併してほぼ今の栃木県の形となった明治6年6月15日を記念して制定されました。ステージゾーン、展示ゾーン、体験ゾーン、味わいゾーンの4つのゾーンに分けられた各会場では楽しい催しが開催され、2日間で延べ6万人が来場しました。



農業軸に産業・地域活性化
農業活性化の連携協定を締結



6月26日、県は(社)栃木県経済同友会と「栃木県の農業活性化に関する連携協定」を締結し、本県農産物の高付加価値化やブランド化、優れた農業経営者の育成、地産地消の推進などに連携して取り組むこととしました。また、10月26日には、農業者と商工業者の出会いの場「とちぎ未来農業研究会」が設立されました。今後は、本県がもつ優れた環境や豊富な地域資源を生かし、他産業と連携した農業の展開により、新たな産業の創造や地域活性化がもたらされることを期待されます。



県警察では、民間犯罪被害者等支援団体「(社)被害者支援センターとちぎ」を始めとする関係機関・団体と連携し、各種被害者支援活動を展開しており、特に同センターの支援体制を強化するため、研修会への講師派遣や基盤確立のための各種援助を行ってきました。その結果7月22日、同センターが栃木県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」として指定を受けました。今後は、同指定に基づき、被害者の同意を前提に、警察から被害者情報が提供され、より円滑な被害者支援活動が提供されることが期待されます。

さらなる被害者支援へ
被害者支援センターとの連携強化

高校生の豊かな人間性をはぐくむことを目的に「ふれあい活動高校生をつどい」が7月23日に開催されました。当日は5校の生徒による「ふれあいと交流」に関する体験発表、3つの分科会でのシンポジウムなどが行われました。このうち「高校生と環境」をテーマにしたシンポジウムでは、高校生約300人に知事が加わり、宇都宮工業高校によるエコ活動の紹介、知事からの県の取組に関する説明に続いて、知事と会場の高校生による活発な意見交換が行われました。



高校生が知事と意見交換
ふれあい高校生のつどい

7月28日、日光田母沢御用邸記念公園で「第6回北関東磐越五県知事会議」が開催されました。これは、福島・茨城・栃木・群馬・新潟の5県に共通する、あるいは各県が抱える課題などについて5県知事が意見交換を行い、相互の連携と協調を保ちながら、各々の地域の振興を図ることを目的に実施しているものです。会議では、子育て家庭優待カード事業の連携が合意され、福島・茨城・群馬の優待カードも栃木県内で発行できるようにになりました。



5県知事が意見交換
北関東磐越五県知事会議

環境立県戦略の策定に向けて
環境立県シンポジウムを開催



8月3日、環境立県に向けたとちぎの可能性などをテーマに「とちぎ環境立県シンポジウム」がとちぎ福祉プラザで行われました。これは、「とちぎ環境立県戦略」の策定に当たり、広く県民の皆さんから意見を聴くため開催されたものです。県では、シンポジウムや「とちぎ環境立県戦略会議」での議論などを踏まえ、11月24日「とちぎ環境立県戦略」を策定しました。戦略に掲げる「地球と人にやさしい「エコとちぎ」の実現に向け、県民総ぐるみで地球温暖化対策に取り組むこととしています。

夏休み特別企画「こどもフェスタ」
けんちようde愛ふれあい直売所

「けんちようde愛ふれあい直売所」は、県庁舎の有効活用と地産地消の情報発信を目的に、毎月18日の「とちぎ地産地消の日」に開催されています。新鮮で安全な農産物やこだわりの加工食品がとこる狭しと並び、毎回多くの来場者で賑わっています。8月には特別



けんちようde愛ふれあい直売所

企画として、子どもたちが楽しみながら食を学ぶ「こどもフェスタ」を開催しました。県女性農業士会による「食農カルタ大会」や、とちぎ食育応援団員による「クイズ&ゲーム」に多くの小学生や家族連れが参加して、楽しんでいました。



県警察では9月から「高齢自転車利用者に対するヘルメット着用推進運動」を開始しました。この運動は、高齢者の自転車利用中の頭部損傷での死亡事故を防止するために、ヘルメット着用を推進する運動です。各警察署では、自転



高齢者の自転車死亡事故を防止
ヘルメット着用運動実施中

車免許証講習会を受講した高齢者などに対し、優先的に無料配布しモニターとして広報啓発を行うとともに、各種会合やイベントなどの機会に自転車事故の現状やヘルメットによる頭部保護の必要性を訴え、運動の拡大を図っています。

福田知事は、今年度100歳を迎えた足利市の林トシ子さんを9月5日に訪問し、祝詞と記念品を贈り、長寿を祝いました。明治42年生まれの林さんは、織物の町足利で初の洋裁学校を設立し、教師として活躍され、現在もご自分が作った洋服をおしゃれに着こなしています。好きな食べ物も、「娘さんの作るカレーライスや梅干し」。元気の秘訣は「嫌なことは忘れ、くよくよしないこと」と話してくださいました。今年度県内で100歳を迎える方は275人で、過去最高となりました。



100歳の林さんに祝詞
知事が長寿を祝い訪問

生涯スポーツ社会の実現へ
県民スポーツレクリエーションフェスティバル



9月19日、県総合教育センターで、09年度栃木県民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの総合開会式が開催され、各市町、各競技団体、県民などあわせて244人が参加しました。当日は、(株)栃木サッカークラブ地域活性化グループテクニカルディレクターの上野優作氏が「フットボール イズ マイ ライフ」という演題で、記念講演を行いました。また、同事業の一環として、10月18日・25日に県民スポーツ大会、11月1日に県民レクリエーションフェスティバルが行われました。

日頃の練習成果を発揮

第5回栃木県障害者スポーツ大会

9月27日、障害者の自立と社会参加の促進を目的とした栃木県障害者スポーツ大会を県総合運動公園などで開催しました。この大会は、05年に身体障害者と知的障害者が参加するスポーツ大会を統合して、今年で第5回を迎えました。当日は、約2000人の選手が陸上競技やフライングディスクなど、9種目の競技に参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮されました。また、大会を運営するため、約3000人の競技関係者やボランティアなどの協力を得ることができました。





中国の高校生交流団を受け入れ

浙江省との教育交流事業

96（平成18）年度に県教育委員会と浙江省教育委員会とで、「両県省高校生交流に関する覚書」を取り交わし、翌年から派遣と受入を隔年で実施してきました。今年度は、10月2日から10日までの9日間、浙江省から高校生10人、引率者4人のあわせて14人の交流団を受け入れ、日光市での二社一寺の見学、益子町での陶芸体験、県立鹿沼東高校への体験通学などを実施し、本県高校生との友好交流を深めました。

女性のがん検診を啓発

とちぎdeピンクリボン



女性のがん検診啓発イベント「とちぎdeピンクリボン」を10月3日にとちぎ男女共同参画センター（パルティ）で開催しました。自治医科大学の鈴木光明教授による子宮頸がん検診の大切さについての講演のあと、医師・患者会・メディアの3者が乳がんに関する座談会を行い、女性に特有のがんに関する知識の普及を図るとともに、検診の必要性を呼びかけました。また、合間には日光市出身のソプラノ歌手・石井真由美さんがコンサートを行ったほか、関係団体により設けられた検診機器展示コーナーでは、会場を訪れた人たちが熱心に説明を聞いていました。

人権尊重の社会を築こう
ヒューマンフェスタとちぎ



10月3日と4日、マロニエプラザ（宇都宮市）で「ヒューマンフェスタとちぎ2009」を開催しました。この催しは、県民一人ひとりに人権をより身近なものとして考えてもらうために行っているものです。今回は、住田裕子弁護士
の講演や平松愛理さん、川嶋あいさんのトークショー&コンサートなどが行われ、約1万2000人もの来場者で賑わいました。また、各種人権啓発のブースやさまざまな参加体験型のブースでは、多くの参加者が人権尊重の大切さを目で、耳で、肌で感じていました。

市民も参加し「もしも」の時の行動を確認

県・那須塩原市総合防災訓練



るバケツリレーでの初期消火や避難訓練を行いました。また、消防本部、自衛隊、警察、ライフライン機関など防災関係機関が相互に連携したさまざまな訓練を実施し、「もしも」の時の行動が確認されました。

10月11日、那須塩原市那珂川河畔運動公園で県と那須塩原市との共催による総合防災訓練を実施しました。那須塩原市を中心に震度6強の大地震が発生したことを想定し、那須塩原市連合消防団による救助訓練をはじめ、地元の自主防災会や婦人防火クラブなどによ



10月9日から11日まで、那須高原地域活性化推進協議会（県、那須町ほか）では、紅葉シーズンに那須山頂付近で発生する渋滞解消のため、パーク&バスライド社会実験を実施しました。今回の社会実験では、渋滞解消により約50分の旅行時間の短縮などが図られるなど効果が確認できました。今後は、周知や案内誘導の方法などの必要な改善を加えながら、継続的に実験を重ね、本格導入に向けて検討を進めることにしています。



パーク&バスライド社会実験を実施
那須高原地域



「とちぎの元気な森づくり」を推進
シンボルマーク「とちもりくん」を制定

とちぎの元気な森づくり県民会議と県は、県民の皆さんに森づくりを身近に感じていただき、「とちぎの元気な森づくり」の取組にさまざまな形で参加・協力いただけるよう、10月16日を「元気な森づくりの日」に制定するとともに、とちぎの元気な森づくりシンボルマークを公募により制定しました。10月には、元気な森づくりの日を記念して県内2か所での森づくり体験活動や紙上フォーラムなどを行いました。また、皆さんに親しんでいただけるよう、シンボルマークの愛称を募集し「とちもりくん」に決定しました。

新総合計画の策定始まる
第1回県総合計画懇談会

県総合計画懇談会が10月21日、県公館で開かれました。県では、現在の「とちぎ元気プラン」に続く、11（平成23）年度を初年度とする新しい総合計画の策定作業を進めています。懇談会では、県民のみなさんと一体となって取り組むこれからの「とちぎ」づくりや本県の進むべき方向などについて、活発な意見交換が行われました。計画策定の状況は、随時、県のホームページで紹介していきます。あわせて、県民のみなさんからのご意見も募集しています。県民のみなさんの夢や希望を、ぜひ、お寄せください。



おいしいとちぎの旅
とちぎ食と農ふれあいフェア



「地域再発見！ 美味しい楽しい『とちぎ食の回廊』」をテーマに10月24日と25日、「とちぎ 食と農ふれあいフェア2009」がマロニエプラザ（宇都宮市）で開催されました。県内9つの「食の街道」の特産品や新たに開発された商品などの展示・販売、農村レストランによる自慢のそばの提供のほか、餅つきや昔遊びの体験、県産牛肉などの試食・販売などが行われました。また、ステージでは「食の回廊」誕生記念のお披露目イベント、「中華の鉄人」陳建一さんの「お料理トークショー」などが開かれ7万3000人が爽やかな秋・食欲の秋を満喫しました。

食と農をテーマに講演
とちぎ食育推進大会

県と県教育委員会、とちぎ食育推進連絡会の主催による「とちぎ食育推進大会2009」を県総合文化センター（宇都宮市）で10月13日に開催しました。大会には、関係機関・団体などから460人が参加。食育関係コンクルの表彰のあと「野菜ソムリエに学ぶ日本の食と農」と題して、福井栄治さん（日本ベジタブル&フルーツマイスター協会の理事長）が食の大切さについての講演を行いました。続いて小山市教育委員会の飯田悦子さんが「学校における日本型食生活の推進」について事例発表を行いました。





農業者の販路開拓を支援

東京都内に「マルシェ栃木」

県は、意欲ある農業者の東京都内での販路開拓を支援するため、10月に、千代田区一番町の「なちゆるる・あーと一番町店」の一角に販路開拓拠点「マルシェ栃木」

を開設しました。これまで4回開催し、県産の新鮮な野菜、果物、米、畜産物、加工品などが販売されるとともに、生産者自ら店頭に立って自分の商品をPRしたり、県産食材を活用したランチの提供レストランなどの商談会が行われました。

県財政の健全化に向けて

とちぎ未来開拓プログラム



県では、厳しい財政状況に対応し、財政基盤を立て直す行財政全般にわたる取組として、「とちぎ未来開拓プログラム」を10月28日に策定しました。このプログラムは、13（平成25）年度には収入に見合った予算編成ができるよう、今年度から4年間をかけて、384億円の収支改善を図ろうとするものです。そして、「選択と集中」により当面の財政不足を解消し、「とちぎ」を未来につなげていくための財政的な基盤を確立していくこととしています。今後、プログラムを確実に実行していくことにより、「安心して暮らせ、人や環境にやさしく、元気な『とちぎ』」の実現を目指していきます。

子育て家庭優待制度を連携
栃木・福島・茨城・群馬の4県で



子育て中の家庭が指定のカードを協賛店舗などで提示すると割引などの優待サービスを受けられる事業の連携が、栃木・福島・茨城・群馬の4県で11月1日にスタートしました。仕組みは、各県で現在発行しているカードを連携先の県の希望者にも発行するもので、希望者は住所地の県の指定した窓口で連携先の県のカードを取得できます。連携先の県のカードを取得された人は、その県での優待サービスが利用できるようになり、特に県境に近い地域にお住まいの人には利便性が高まりました。

県と災害派遣協定を締結
災害派遣医療チーム

県内外での大規模な災害発生から48時間以内に医療救護活動を行うことができる災害派遣医療チーム(DMAT)を被災地へ派遣するため、県と県内のDMAT指定病院(6病院)との間で11月1日「栃木県DMAT派遣に関する協定」を締結しました。DMATは、1チームが医師、看護師など5人程度で構成され、被災地でのトリアージ(傷病者の重症度や緊急性によって治療の優先順位を決定すること)や消防機関などと連携した活動を行います。県は今後とも、災害現場での救命救急活動に貢献できるよう、DMATを軸とした災害医療体制整備に取り組んでいきます。



知事がヴォークリューズ県などを訪問
友好交流20周年記念事業行事などに参加



11月9日、フランス・ヴォークリューズ県において、本県との友好交流20周年を祝う記念行事が開催され、そのオープニングセレモニーに本県から知事や県議会議長等が出席しました。記念行事では、本県の伝統工芸士や「とちぎプロヴァンス協会」の人たちも参加し、伝統工芸品の展示や生花、書道、折紙などの日本文化の紹介を行うなど、ヴォークリューズ県民との交流を深めました。また、観光プロモーションの実施や航空関連企業との意見交換など、経済分野での交流も積極的に行いました。



「エコとちぎ」づくりめざして とちぎ環境県民大会

12月5日、「地球と人にやさしい「エコとちぎ」づくり」に向けた機運を高めようと「とちぎ環境県民大会」がマロニエプラザで開催されました。大会では、環境保全に関し優秀な取組を行っている事業所を表彰する「マロニエECO事業所表彰」、レジ袋無料配布の中止を実施する「栃木県におけるレジ袋削減に関する協定」の締結、「地球と人にやさしい「エコとちぎ」づくり県民宣言」の発表などが行われました。（写真は、足利市立葉鹿小学校の児童による「エコとちぎ」づくり県民宣言）

障害者週間（12月3日～9日まで）中の12月8日、「みんなdeナイスハートけんちょう」を県庁舎で開催しました。会場では、障害のある人の製品を販売する「とちぎナイスハートバザールinけんちょう」に加え、障害者就労支援事業所の製品や受注可能な仕事を紹介する「ナイスハート見本市」、そして小中学生の作文とポスターを展示する「心の輪を広げる作文・障害者週間のポスター展」を同時開催し、県庁全体がふれあいの場になりました。販売を担当する人たちは、一生懸命商品をPRしたり、質問に答えるなど、訪れた人との交流を深めました。



障害者週間にイベント開催 みんなdeナイスハートけんちょう



いちご王国「とちぎ」をPR いちご情報館がオープン

本県のいちごは、生産量・産出額ともに全国1位を誇る、栃木を代表する農産物です。生産者と消費者をつなぐ情報発信拠点として、12月25日に「いちご情報館」を「道の駅にのみや」内に開設しました。施設の目玉は「いちご展示温室」。「とちおとめ」はもちろんのこと、観光いちご園限定の「とちひめ」や夏どりの「とちひとみ」など7つの品種を栽培・展示し、それぞれの品種の違いや香りが楽しめます。お近くにお寄りの際は、ぜひご来場ください。

10月

- 10 下水道フェスティバル（思川浄化センター）
- 10 エコ・もりフェア 2009（11日まで）
- 13 県優良木材展示会（鹿沼市など＝23日まで）
- 15 下水道フェスティバル（巴波川浄化センター）
- 16 とちぎ住宅フェア 2009（18日まで）
- 16 県営土地改良事業感謝状贈呈式・ほ場整備シンポジウム
- 17 下水道フェスティバル（県央浄化センター）
- 17 全国スポーツ・レクリエーション祭（本県選手団を宮崎県に派遣＝20日まで）
- 17 栃木県技能展（18日まで）
- 18 家族で食育の日
- 23 道の駅みぶオープン
- 24 下水道フェスティバル（秋山川浄化センター）
- 24 とちぎ“食と農”ふれあいフェア～地域再発見！美味しい楽しい「とちぎ食の回廊」～（25日まで）
- 25 第3回「とちぎ食の回廊」モニターツアー～餃子の街宇都宮ベジフル街道～
- 28 政策懇談会
- 30 那須高原有料道路無料開放
- 30 とちぎ企業立地セミナー（東京都）
- 31 日光市中宮祠地区渋滞対策社会実験（11月3日まで）
- 1 県民健康・栄養調査の実施
- 1 市町村税徴収強化月間 2009 冬（11月～12月）
- 3 エコドライブキャンペーン（このほか7日8日）
- 3 「介護の日」フェスティバル in とちぎ
- 5 県文化功労者表彰式
- 7 下水道フェスティバル（大岩藤浄化センター）
- 7 とちぎものづくり技能競技大会
- 11 とちぎ食品安全フォーラム
- 11 栃木県農業担い手躍進大会
- 11 栃木県青少年健全育成功労者等表彰式
- 12 天皇陛下御即位 20 年をお祝いする国民祭典「お国自慢の全国郷土展」
- 13 「とちぎ観光物産フェア」 in サンシャインシティ（15日まで）
- 14 「世界糖尿病デー」街頭キャンペーン
- 14 フェスタ in パルティ（15日まで）
- 16 平成 21 年度市町村教育委員会研究協議会（第 1 ブロック）（宇都宮市＝17日まで）

11月

11月

- 18 第 21 回栃木県マロニエ建築・景観賞表彰式
- 18 栃木県統計大会
- 18 国際見本市「FHC CHINA」（中国上海市）（20日まで）
- 19 栃木県職業能力開発促進大会
- 20 河川愛護ポスターコンクール表彰式
- 20 栃木県有機農業推進講演会
- 21 第 33 回農大祭（22日まで）
- 22 道の駅にしかたオープン
- 23 中国観光交流推進事業（せっ江省・江蘇省ミッション派遣 27日まで）
- 24 「とちぎ環境立県戦略」策定
- 26 道路照明消灯試験開始（～2010.2月末）
- 26 県きのこわさび展示品評会（27日まで）
- 26 国連アジア太平洋統計研修所研修生が実地研修のため来県
- 27 「ぐんま・とちぎ・いばらき観光物産展」 in グリーンドーム前橋（28日まで）
- 29 がん啓発セミナー
- 30 一般国道 408 号真岡北バイパス開通
- 29 「とちぎ心のルネッサンス」運動推進県民大会・青少年を有害環境から守る県民の集い
- 30 栃木県交通・生活安全安心県民大会
- 1 ふるさと“とちぎ”応援寄付金にクレジットカード納付導入
- 1 「やすらぎの栃木路」冬の宿泊キャンペーン（2月28日まで）
- 3 DESIGN とちぎ 2009（4日まで）
- 5 「人権講演会」（人権に関する強調週間行事）
- 5 マロニエ ECO 事業所表彰
- 5 事業者、消費者団体、市町、県の「栃木県におけるレジ袋削減に関する協定」締結
- 5 第 4 回「とちぎ食の回廊」モニターツアー～日光例幣使そば街道～
- 5 「“エコとちぎ” づくり県民宣言」発表
- 10 とちぎのふるさと田園風景百選に係る知事と船村徹氏との対談
- 11 年末の交通安全県民総ぐるみ運動（31日まで）
- 15 県森林・林業コンクール表彰式
- 15 県芸術祭表彰式

12月

6月	15	県民の日記念式典	
	17	とちぎ光産業振興協議会設立総会	
	19	ベルギー王国大使館寄贈ボード展示披露	
	23	国際見本市（台湾台北市）（26日まで）	
	26	とちぎ産業集積懇話会	
	28	男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」	
	29	とちぎのふるさと田園風景百選実行委員会設立	
	7月	1	市町村税徴収強化月間 2009 夏（7月～8月）
		7	とちぎナイスハートバザール in けんちょう（就労支援事業所などによる授産製品の展示即売会）
8		東京都庁イベント「やすらぎの栃木路」観光物産展 in 東京（14日まで）	
10		交通安全子供自転車大会	
10		県芸術祭（11月23日まで）	
22		平成21年度第1回とちぎ食の回廊ブランド推進委員会	
24		ものづくりフォーラム	
25		第1回「とちぎ食の回廊」モニターツアー～八溝そば街道～	
26		「“とちぎ発” ストップ温暖化アクション」PR イベント“涼感まつり”（宇都宮市）	
29		とちぎ森の子サミット（こどもエコクラブ・緑の少年団交流会）	
30		献血功労者表彰式	
31		道路アンダー部の路面冠水時の事故防止訓練及び河川洪水時の住民避難のための情報伝達訓練	
8月		4	愛鳥週間用ポスター原画コンクール表彰式
		7	第31回「全日本中学生水の作文コンクール」栃木県審査会表彰式
		8	下水道フェスティバル（鬼怒川上流浄化センター）
	21	「映画と講演のつどい」（人権に関する強調月間行事）	
	22	林業センター公開デー	
	30	水産試験場公開デー	
	9月	1	レッツ Buy とちぎ認定商品展示会（3日まで）
		3	栃木県民福祉のつどい
4		消費者問題を考えるつどい	
5		第6回なんびょうサポートとちぎのつどい	
9		第49回栃木県公衆衛生大会、第47回栃木県公衆衛生学会	
9		救急医療週間記念大会	

9月	10	「やすらぎの栃木路」大阪・名古屋キャンペーン（12日まで）
	12	栃木県・インディアナ州姉妹提携 10周年記念事業
	13	とちぎメタボ阻止研修「資質向上研修会（運動編）」
	14	栃木県地方税合同納税相談会（東京都などで17日まで開催）
	15	とちぎの元気な森づくり県民税事業初年度の評価報告書を税事業評価委員会が県に提出
	15	秋の交通安全行事「交通安全の火」分火式
	15	「やすらぎの栃木路」仙台キャンペーン
	17	技術情報交流会（自治医科大学）
	18	「やすらぎの栃木路」フェア in インディ 2009（茂木町で19日まで）
	18	少年の主張発表県大会
23	「やすらぎの栃木路」新宿西口フェア（26日まで）	
23	2009 とちぎ動物愛護フェスティバル	
26	下水道フェスティバル（北那須浄化センター）	
26	国民体育大会（本県選手団を新潟県に派遣＝10月6日まで）	
26	第2回「とちぎ食の回廊」モニターツアー（27日まで）～那須高原ミルク街道・たかはら山麓水街道～	
27	もくもくまつり 2009	
30	宇都宮大学との野生鳥獣管理技術者養成に関する包括連携協定締結式	
30	宇都宮大学・東京農工大学との野生動物管理のための研究推進に関する包括連携協定締結式	
10月	1	「エコ通勤プロジェクトとちぎ」オフピーク通勤の試行（31日まで）
	1	とちぎ食育推進月間
	1	第4期「とちぎハートフルトレ」認証
	3	酪農試験場公開デー
	3	栃木県酪農フェア 2009
	3	とちぎインターナショナルフェスティバル 2009
	5	台湾旅行エージェント・メディア招請事業（日光市で9日まで）
	7	（社）栃木県トラック協会との「森づくりに関する協定」締結
	9	栃木県伝統工芸品展 2009 見て！触れて！“とちぎの匠”まつり（10日まで）
	10	とちぎグリーンフェスタ 2009（18日まで）



2009 県政のあゆみ

1月

- 9 栃木県農業士、女性農業士、名誉農業士認定式
- 16 栃木県民防災の集い
- 19 「人権講演会 in 鹿沼」
- 23 平成 20 年度第 3 回とちぎ食の回廊ブランド推進委員会
- 23 とちぎ文化フェスティバル (25 日まで)
- 25 農地・水・環境保全向上対策フォーラム～とちぎの生き物調査わくわくフォーラム～
- 27 一般国道 293 号志鳥バイパス開通
- 28 国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会 (本県選手団を青森県に派遣 = 2 月 1 日まで)
- 30 第 58 回関東東海花の展覧会 (2 月 1 日まで)

2月

- 2 農業青年研究大会
- 4 アグリライフフォーラム 2009
- 5 みどりと環境のコンクール表彰式
- 8 栃の葉国体記念「第 26 回健康マラソン大会」
- 8 栃木県文化振興大会
- 8 NPO 見本市 & 栃木ボランティア・市民活動フォーラム 2009
- 11 第 4 回こだわり食品フェア 2009 出展 (13 日まで)
- 13 とちぎ花フェスタ 2009 in あしがが (15 日まで)
- 16 第 2 回栃木県元気な農業コンクール表彰式
- 16 栃木県農産物知的財産功績者表彰式
- 17 国民体育大会冬季大会スキー競技会 (本県選手団を新潟県に派遣 = 20 日まで)
- 18 とちぎ物産フェア in 香港 (3 月 1 日まで)
- 23 「ミルクの国とちぎ」講演会

3月

- 1 市町村税滞納ぼく減月間 2009 (3 月～ 5 月)
- 3 安全で安心なまちづくり県民大会
- 4 県南高等看護専門学院卒業式
- 8 一般国道 461 号奥沢バイパス開通
- 10 衛生福祉大学校卒業式
- 12 とちぎ産業活力フォーラム
- 14 一般国道 461 号船生バイパス開通

3月

- 16 主要地方道宇都宮鹿沼線上野町工区開通
- 16 自転車通行環境の整備に向けた社会実験を実施 (18 日まで)
- 17 とちぎの元気な森づくりシンボルマーク・元気な森づくりの日制定
- 18 農業大学校卒業式
- 21 一般国道 400 号大田原西那須野バイパス開通
- 23 (財)関東電気保安協会栃木事業本部との「地球温暖化対策の推進に関する協定」の締結
- 24 主要地方道鹿沼足尾線栃原工区開通
- 26 一般県道上田壬生線福和田バイパス開通
- 27 新とちぎ障害者プラン 21 策定
- 29 東北自動車道黒磯板室インターチェンジ開通 (一般県道 黒磯板室インター線 開通)

4月

- 1 鹿沼南高等学校の開校、小山北桜高等学校の総合産業高校への転換
- 3 春の交通安全県民総ぐるみ運動「オープニングセレモニー」
- 6 マロニエメイツ任命式
- 9 農業大学校入学式
- 9 県南高等看護専門学院入学式
- 10 衛生福祉大学校入学式
- 17 春季苗木配布会
- 22 栃木県文化振興基金寄付第 1 号
- 27 県庁で“みつばち”を飼おう！プロジェクト (6 月 26 日まで)

5月

- 9 県看護大会
- 18 とちぎ地産地消県民運動実行委員会
- 21 とちぎの元気な森づくり県民会議総会
- 22 市町村長会議
- 23 第 47 回栃木県植樹祭 (茂木町)
- 29 旅フェア 2009 出展 (横浜市 31 日まで)
- 31 とちぎの環境美化県民運動・県市町連携行動 (芳賀町、那須塩原市、佐野市、下野市:5 月 31 日、日光市:6 月 7 日)

6月

- 1 不法投棄パトロール出発式
- 1 「エコ通勤プロジェクトとちぎ」スタート (2010 年 3 月まで)
- 1 県及び市町による道路アンダー部の排水施設等に関する一斉点検実施 (5 日まで)
- 10 求人企業合同説明会